

日野町民ミュージカル 新おしどりの物語

「ありがとうございます」観客を見送る出演者たち



終演後、出演者全員で記念撮影

■客席アンケートより

「出演者のみなさんがとても上手く、舞台もきれいで感動しました」

「みんなの笑顔がとってもステキでした！」

「感動をありがとう。毎日の生活に勇気が出てきました。」

「『きらり この町』いい歌ですね。元気が出ます」

「今日のミュージカルは、私の頭の中でいつまでも忘れることがないと思います。
舞台の上の子どもたちが立派に成長してくれることを願っています。」

● 2006 新年あいさつ

人々が集う、福祉のまちづくりを



新年明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、単独自立の道をどう進めていくかが大きな課題でありました。まちの行く末を考えると、5年先、10年先はどんなまちになるのか、夢が持てるのかと思いつながら自立政策推進大綱に沿ってプランを練り、財政推計を皆様にお示しました。

平成19年には歳入と歳出が逆転し、赤字団体に転落することが予想されます。議会ともども協議を重ねながら、昨年10月から7回にわたって住民説明会を開きました。すべてが理解されたとは思いませんが、少なくとも現状については認識していただけたと思っております。行政改革とは何か、地域の活力を失うことにつながらないのか、私がお示しし

た自立への道をしっかりと踏みしめていただき、少子高齢化時代にどう対処できるか、他人事でなく互いに自らで創造しようではありませんか。

人が減りゆくまちでなく、人が来てくれるまち、福祉産業のまちを。幸せを呼ぶ金持神社の黄色いハンカチー。全国から大勢の人が来ています。夢はどんどん広がっています。そこで育つ子どもたちは、情操豊かにふるさとを思う人に成長することでしょう。

今年は戌年、天空をしっかりと見据え、尻尾をぴんと立て、将来に思いをはせる、大事な一年になると思います。

いずれにしても、いつも元日に願うことは、今年こそ良い年でありますように、健康でありますようにということですが、平成18年が素晴らしい年になりますよう、みなさんと一緒にがんばりたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

日野町長 梅林 豊